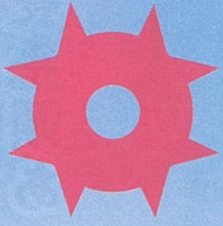


いかわ



議会 だより

No. 141

2020. 1. 1

謹賀新年



新年を迎えた
井川さくら駅

12月議会

(会期・12月4日～6日)

年頭のあいさつ	2
第4回定例会	3
常任委員会審査	4
一般質問（2議員登壇）	5
第2回・第3回全員協議会	8
表彰・陳情	9
私のひとこと・議会のうごき	10

議長年頭あいさつ



新年に思う

議長 藤田 俊悦

新年あけましておめでとうございます。
 昨年は30年余り続いた「平成」が終わり、「令和」に改元された年でした。
 町では、齋藤町長が2期目の町政の舵取りを担うスタートの年でした。今
 後、公約や町が抱える課題にどう対処していくのか、町民は注視している
 のではないでしょうか。

町の大きな課題である国花苑周辺の再整備は、旧小学校の活用と一体
 的に捉えることが、適切だと思います。

日本国花苑利用計画検討委員会の報告書にもあるように、「将来にわた
 り親しまれる公園」を目指すことには異論はありません。

今年で3年目を迎える井川義務教育学校は、苦難もあるかと思いますが、
 順調に推移しているように思います。今後も町民は勿論ですが、県内外か
 ら注目されることになるでしょう。

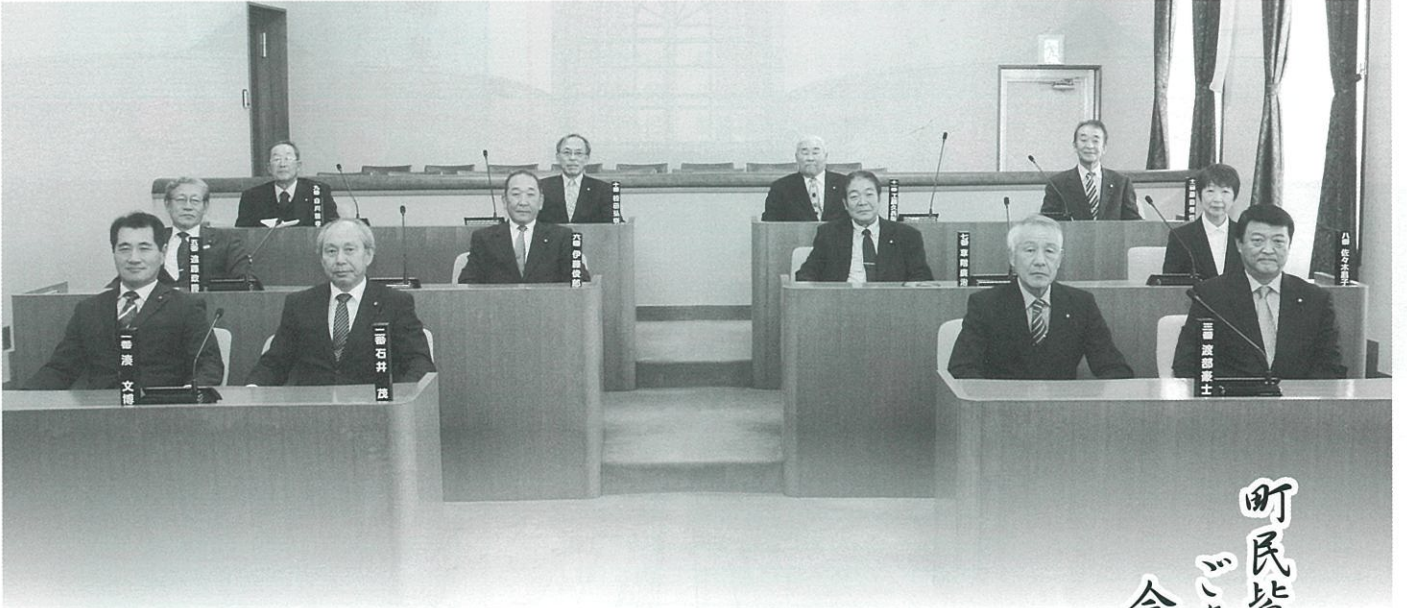
また、若者や子育て世代の定住促進のための住環境整備は、喫緊の課題
 であり、早期の実施が求められているのではないのでしょうか。

さらに、町の基幹産業である農業の振興は、高齢化と担い手不足が相まっ
 て、年々深刻化は増しております。経営規模の大小を問わず強い危機感を
 持ち、それに対処するきめ細やかな施策が必要かと思われれます。これはコ
 ミュニティーが稀薄になりつつある今日の地域社会の維持との関わりが、
 極めて大きいと思われるからです。

町では、それらを含めた諸課題が山積する中、議員（議会）の使命は一
 層重大なることは申すまでもないでしょう。

昨年は、全国町村議会議長会創立70周年の節目の年でありました。
 議員は、住民のニーズに合った議会像を創りつづけていくことが、務め
 だと思えます。

結びに、新しい年が皆様にとりまして、平穏で夢と幸多き年であります
 よう心よりご祈念いたしましたして、新年の挨拶いたします。



町民皆様のご健勝

ご多幸をお祈りします
 今年もよろしく
 お願いいたします



- 議長 藤田 俊悦
- 副議長 工藤 久兵衛
- 議員 湊 文博
- ” 石井 茂
- ” 渡部 豪士
- ” 浅野 義幸
- ” 遠藤 政勝
- ” 伊藤 俊郎
- ” 草階 廣治
- ” 佐々木 昌子
- ” 白川 雅孝
- ” 松田 弘咲
- 事務局長 鷺谷 仁美

(議席順)

役場組織の機構改革

町民課を「町民生活課」と「健康保険課」に分割

第4回定例会は、3日間の会期で開かれた。

町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定。表彰条例、印鑑条例、議員報酬及び費用弁償等に関する条例等、一般職の職員の給与に関する条例、災害弔慰金の支給等に関する条例、消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例各々の一部を改正する条例、市町村総合事務組合規約の一部変更並びに、一般会計、特別会計、水道事業会計の補正予算等8件をそれぞれ可決、陳情は7件を採択とし意見書に関係機関等へ提出することとした。

令和元年度一般会計補正は2,580万円を追加し、累計30億6,450万円とした。

歳出の主な内容は県後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金、障害者福祉関連国庫負担金返還金、生活困窮者就労準備支援事業費等補助金返還金等の追加及び保育料支援費補助金等減額補正した。

歳入の主な財源は、前年度繰越金1,652万円、普通地方交付税1,443万円、子ども・子育て支援臨時交付金250万円それぞれの追加及び、保育料負担金550万円、介護認定事業特別会計繰入金272万円それぞれの減額。

令和元年度 各会計歳出予算表 (補正)

(単位：万円)

会計名	補正額	補正後の額	主な内容	
一般会計	2580	30億6450	人件費	210
			生活困窮者就労準備支援事業費等補助金返還金	324
			県後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金	823
			障害者福祉関連国庫負担金返還金	374
			道路補修工事	150
			図書購入費	227
			農業用施設災害復旧費	124
			保育料支援費補助金	△ 300
国民健康保険事業特別会計	1114	5億3835	財政調整基金積立金	1000
国民健康保険診療所特別会計	0	1億1460	人件費の調整	0
介護保険事業特別会計	△ 26	8億9193	地域密着型介護サービス給付費	400
			施設介護サービス給付費	600
			居宅介護サービス給付費	△ 1003
介護認定事業特別会計	△ 266	2813	一般会計繰出金	△ 272
後期高齢者医療特別会計	234	5464	後期高齢者医療広域連合納付金	234
下水道事業特別会計	48	2億5196	汚水樹設置工事	86
水道事業会計	171	1億1697	修繕費	159

住み良い町に

委員会審査の主な内容

総務課

問 会計年度任用職員

の制度が来年度から決まり各種手当が支払われることになるが、今まで臨時職員に對しどういった手当を支払ったか。

答 時間外手当のみで、その他手当は支払っていない。

問 現在の町職員のラスパイレース指数（公務員の

基本給与額比較指数は、93・8程度で全県では下位に位置している。

問 庁舎改修工事で、町民課を2つに分ける計画だが、ボード等で仕切りはするか。

答 2つにするが仕切りはしない予定で、課長が増えるので機の配置等も変わることから電話の増加や電気配線の変更も予定。



町民課を町民生活課と健康保険課に分割

産業課

問 条件不利農地の基準は。

答 国道285号線の東側で基盤整備されていない農地である。

問 プレミアム付き商品券の購入率が低い

ため、勸奨（奨励）するようだが、金額が高く買にくい。勸奨に効果があるか。

答 国の制度に沿っている。商品券は2万円を一度に払わずとも、4千円から購入可能で、それも含め勸奨したい。

問 道路陥没補修の今年度の対応が早いと思うが。

答 陥没等を見つけ次第、道路担当者へ写真付きで連絡する体制にしている。

問 除雪されない箇所がある。毎所要望書が上がっているが、なぜ対応できないか。

答 具体的な場所にも

町民課

問 旧氏の印鑑登録と

はどのようなことか。

答 結婚で氏が変わったが、会社等で旧氏を名乗っている人などが旧氏での表示が可能。

問 町で災害弔慰金の支給等利用はあるか、限度額は。

答 町で災害弔慰金の支給等利用はあるが、限度額は。

教育委員会

問 生活支援員が1名減の影響はないか。

答 人手が足りてない状況。前期課程に2名、後期課程に1名配置。来年度は、4名分予算要求しているが人材がなかなか集まらない。



条件不利農地の整備が急がれる

一般質問

町政のことが聞きたい

2人の議員 一般質問

定例会初日に一般質問が行われ、2人の議員が町政について質問した。
質問順に掲載する。

P 6	石井 茂 議員
	1 病院再編問題について 2 変形労働制について
P 7	遠藤 政勝 議員
	1 自然災害に対する万全な対策について 2 人口減少対策に思いきった施策を 3 美しい農村社会を残すための農業振興について

白抜きの数字は掲載された質問です。それ以外は紙面の都合により掲載できませんでした。
なお、掲載できなかった質問については議会議事録で見ることができます。

◆一般質問とは◆

一般質問は、町の行政全般（一般事務）に関し、執行者所見や疑義について質問できるものである。

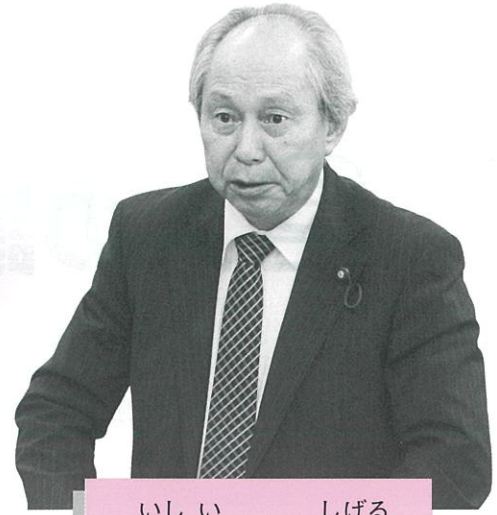
質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制を採用し、事前に質問内容を通告することとしている。

井川町では、質問時間は、1人につき30分以内で完了することとされている。

質問は時間内であれば再々質問までできるものである。

一般質問

病院再編・統合問題 町民から不安や怒りの声が 湖東厚生病院は守る



いしげろ
石井 茂
議員

石井

公立・公的病院の
うち再編・統合を

検討し来年9月まで結論
を出すようにと424の
病院名が公表された。こ
の中に湖東厚生病院も
入っている。多くの町民
から不安や怒りの声が寄
せられている。

11月18日、共産党地方
議員団の一員として、病
院名公表の撤回をするこ
と、地方創生に逆行する
再編・統合の押し付けを
やめることなどを国に要
請してきた。

11月27日開催された全
国町村長大会でこの問題
が重点要望になったよう

だが、今回の公表の仕方
を含め、病院の再編統合
に対しどう思い、また今
後どう対処していくか。

町長

湖東厚生病院をは
じめ今回報道され

た医療機関は地域になく
てはならないものだ。全
国一律の基準で分析され
たデータに基づいた公表
は、非常に問題があるし
残念な思いがある。ただ、
地域の医療提供体制をど
うしていくのかは真剣に
全員で考えていかなけれ
ばならない時期に来てい
るのではないか。

いったん公表されたも
のを撤回したとしてもイ
メージは付いて回る。
湖東厚生病院は守って
いくというスタンスで
しっかりと発言していく。

変形労働制は 長時間労働を助長

放課後拡充カリキュラムで対応

石井

教員の長時間労働
の大きな要因であ

る給特法が改正され、教
員に変形労働制を適用で
きることが現実味をおび
てきた。繁忙期と閑散期
の平均で労働時間を決め
る制度だが、そもそも人
間の心と体は繁忙期の疲
労を閑散期で回復できる
ようなものではない。

古い資料ではあるが、
日本教育新聞1月7日号
によれば、市区町村教育
長の42・2%が導入に反
対し、賛成は13・6%と
のことだ。

教員の長時間労働を助
長させる恐れのある変形
労働制は自治体の条例で
決まる。昨年12月議会で
も少しふれたが、この制

度に対する教育長の見解
は。

教育

具体的運用につ
いては都道府県や
市町村の教育委員会が条
例や規則などで定めるこ
とになると思う。学校全
体で一律に導入するもの
ではなく、教員一人一人
の事情に応じて導入する
ものだ。

昨年は教員の多忙化防
止計画を策定し、時間外
勤務の縮減に努めた。今
年は更に夏休みに連続9
日間の学校閉鎖を行って
いる。来年度からは「井
川っ子元氣プラン」を作
り、6時間学習日を週2
日に減らす「放課後拡充
カリキュラム」を検討し
ている。

変形労働制が退勤時間
の柔軟な運用を考えてい
るのに対し、放課後拡充
カリキュラムは、時間外
勤務時間を減らして業務
時間の平準化を図ってい
くものだ。学校での働き
方改革の有効な手段にな
る。



地域医療に大事な拠点



えんどうまさかつ
遠藤 政勝
議員

自然災害に対する万全な対策を 事前の情報を基に対応したい

遠藤 毎年の大きな自然災害、どこの地域でも起こりうる異常災害が当たりまえとなっており、今までと違う意味で対策が必要と思う。一昨年の記録的な豪雨による町の災害復旧状況は。

町長 平成30年度5月の大雨は17日～19日にかけて断続的に降り、「井川」は東部地区を中心に被害が発生。「井川」は町管理の井川支流の復旧工事は完了、県管理にある「井川」は災害認定されている箇所は今年度で完了する予定。未実施箇所の県単工事については、予算確保を引き続き要望する。

遠藤 台風19号被害の状況から、「井川」の堤防の決壊や浸水が心

配。町の災害ハザードマップの見直しも必要ではないか。大丈夫か。

町長 現在のハザードマップは平成28年度に作成配布。過去の浸水実績を基に作成。3時間降水量が80ミリで氾濫の可能性が高い。全国での災害時の雨量は通常では考えられない雨量。その雨量を想定したハザードマップの作成は現時点で困難。ただ追加を含め検討をしたい。浸水区域は現在より広めに設定、しっかりしたマップを作成して周知したい。

遠藤 避難の訓練や情報の発令など、日頃の災害に対する啓発は。

町長 各自自主防災組織に訓練の実施をお願いし、今年度は6町内で実施。避難場所については安全な場所の見直しと告知をする。また職員を対象に防災訓練を開催し、災害時の初動行動や情報収集、誘導等を学んでいる。

人口減少対策に 思いきった施策を 若年層の未婚化解消に努力



元気な笑い声がするこどもセンター

遠藤 どの市町村も一番の課題と考える人口減少。直近の出生数は5年間の平均で15人、思いきった施策を。子どもの誕生時に100万円と義務教育学校入学時に100万円の祝い金を支給し、年間30人の出生を目標にしたらどうか。

町長 町の出生数の伸びはない最大の要因は、「若年層の未婚化」と考えている。昨年度県で実施した調査では、25才～39才の未婚率男性56・2%、女性41・2%となっている。増加させ

るにはどうするか真剣に考える。婚姻をどうするかに力を入れたい。

遠藤 住環境の整備により魅力あるまちづくりを目指すことも大事。民間を活用した定住化促進住宅の考えは。

町長 町営住宅には所得制限等がある。住みたくとも住む場所がない状況を解消するための定住化促進住宅建設の話し合いを内部で進めている。現在、羽立の特定公営住宅2棟を解体しており、その跡地へ民間を活用した定住化促進計画の建設を考えている。人口の流出をできるだけ抑制し、人口の増加はできないが、維持に努めたい。

※井川町での定住化促進住宅とは
町が民間業者へ土地を期限付きで無償貸借。その土地へ事業者が住宅を建設。町は家賃を徴収。決まった金額を事業者へ支払う仕組み。

これも質問
「稲わら、もみ殻の有効活用について」

第2回 議会全員 協議会開催

11月5日

町が自立の道を選択した際に財政が厳しくなると予想され、平成20年より議員16名から12名に減らし、議員報酬も10%カットし現在に至る。

議員全員による 主な協議の内容

案件1 議員のなり手 確保について

■ 自立計画策定時の議員報酬10%カットを一度元に戻すべきである。また、議員報酬が低いので、生活できる最低限度報酬にアップを図り、若い世代の方々も議員活動できるようにするべきである。

■ 議員活動そのものが、町民にはよく見えていなく理解されていない

のではないかと。議会活動を活発に推進していくためには、政務活動費も必要である。

案件2 人口減少の中 での議員定数について

■ 議員定数については、町民との協議会等を開きながら、町民へのアンケートを実施し、町民の声に対応すべきでないか。

■ 議員定数の削減は、人口減少の中最終的にはいくらか、人口が減ったから減すことではなく、最低限度の定数を明確にしなければ、議会としての機能が発揮できない問題等が発生

する懸念もある。

■ 議員の研修機会を多くし、議員と議会全体のレベルアップを図るべきであり、町民に対し、議会活動を広くアピールしながら、理解してもらおう必要がある。

■ サラリーマンを続けながらの議員活動は、会社の問題やいろいろな行事が多く、とても土・日曜日だけの議会運営活動は、日程的に両立はできる状態ではない。

これらの案件については、議員の意見を出し合ひ、今後も継続的意見交換の機会を設けて検討することとした。

(2018年7月1日現在)

県内町村名	推計人数	議員定数
小坂町	5,185	12
上小阿仁村	2,345	8
藤里町	3,315	10
三種町	16,879	16
八峰町	7,253	12
五城目町	9,399	14
八郎潟町	5,946	12
井川町	4,811	12
大潟村	3,197	12
美郷町	19,818	16
羽後町	15,079	16
東成瀬村	2,587	10

(第64回町村議会実態調査)

第3回 議会全員 協議会開催

11月25日

案件1 会計年度任用 職員制度への移行につ いて

概要 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行により、令和2年4月1日から地方公共団体に会計年度任用職員制度が導入されることとなり、特別職非常勤職員及び一般職非常勤職員並びに臨時的任用職員の職の選定及び任用根拠が改められたことにより、会計年度任用職員の給与や勤務時間、休暇等に係る制度を整備する必要が生じた内容である。

問 この制度に移行した場合のフルタイム勤務職員とパートタイム勤務職員の人数は。

答 パートタイム勤務職員は7時間勤務等になっている臨時職員、事務補助、施設管理等である。7時間45分の勤務形態にする必要がある職員は、フルタイムということ現在進めている。まだ全てが確定していない。

問 休暇については、妊婦の産休・育休と、男性職員も含めての育児休暇等も入るか。

答 現在他の関連、国の規則等々と照らし合わせているが、男性の方については、まだ確認していない。

課を統合し環境整備班とする

案件3 秋田県国民健康保険団体連合会における高額医療費共同事業の交付金算定誤りについて

原因 システムへの平成20年度入力時、基礎となる数値を誤入力したことによる。

今後の対応 市町村間で拠出金及び交付金の差額精算を行い、国及び県へ負担金の返還を行うことになる。

案件2 役場組織の機 構改革実施について

理由 町民ニーズや課題など的確に対応し、効率的な事務執行体制を整えるために実施する。

【変更点】

■ 町民課を町民生活課と健康保険課に分割する

■ 町民生活課に生活班と福祉班を設置

■ 健康保険課に健康・子育て班と保険班を設置する

■ 産業課の建設班に水道

問 返還については今年度、基金に積んで2年度に崩して返還するという意味か。

答 基金を今年度積んで、来年度にその分を取崩して、返還する予定。

案件4 その他

井川町診療所の医師の退任についての説明があり、後任探しを行っている状況とのこと。

表彰

秋田県地方自治功労者表彰

工藤 久兵衛 議員



10月28日、秋田県より、永年議会議員として町勢振興発展と住民福祉の向上に尽くされた功績により、本町議会から工藤議員が表彰されました。

表彰

南秋田郡町村議会議長連絡協議会自治功労者表彰

浅野 義幸 議員



7月8日、南秋田郡町村議会議長連絡協議会より、多年にわたり地域の振興発展に尽力された功績により、本町議会から浅野議員が表彰されました。

表彰

全国町村議会議長会創立70周年記念永年功労者表彰

藤田 俊悦 議員



11月13日、全国町村議会議長会より、永年議会議員として町勢振興発展と住民福祉の向上に尽くされた功績により、本町議会から藤田議員が表彰されました。

表彰

全国町村監査功労者表彰

白川 雅孝 議員



10月31日、全国町村監査委員協議会より、多年にわたり監査委員として町勢振興発展に貢献された功績により、本町議会から白川議員が表彰されました。

陳情

12月議会に陳情7件が上程され、審査の結果全陳情を採択し、関係機関に意見書を提出した。

採択………全員一致

◎日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書

一般社団法人日本沖縄政策研究フォーラム
理事長 仲村 覚

◎ケアプラン有料化などの制度見直しの中止、介護従事者の大幅な処遇改善、介護保険の抜本的改善を求める陳情

秋田県春闘共闘懇談会
代表委員 石川 洋基
秋田県労働組合総連合
議長 加賀屋 俊悦

◎若い人も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める陳情

秋田県春闘共闘懇談会
代表委員 石川 洋基
秋田県労働組合総連合
議長 加賀屋 俊悦

◎お金の心配なく、国の責任で、安心して暮らせる社会の実現のため社会保障制度の拡充を求める陳情

秋田県春闘共闘懇談会
代表委員 石川 洋基
秋田県労働組合総連合
議長 加賀屋 俊悦

◎医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書の提出について

秋田県医療労働組合連合会
執行委員長 石川 洋基

◎介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設に関する意見書の提出について

秋田県医療労働組合連合会
執行委員長 石川 洋基

◎「深刻な医師不足、高齢化の進行、公共交通機関の衰退など地方における公立・公的病院のおかれている医療事情の状況把握を欠いたまま、国の基準に基づく一方的な再編・統合は行わないこと」を国に求める意見書提出の陳情書

秋田県社会保障推進協議会
会長 渡辺 淳

お詫び

前回の議会だより(No.140)で誤りがありましたのでお詫びして訂正します。

- ・3ページ 写真のコメント
屋根塗装を終えた
街道町営住宅 → 羽立町営住宅
- ・13ページ 陳情書
一般財団法人 → 一般社団法人
- ・15ページ すさみ町視察研修
町長10%、議員5%報酬カット
→ 町長15%、議員10%報酬カット

以上訂正します。

私の

安心な町内へ



小泉町内会長
渡部文隆

近年は地球温暖化が原因といわれる巨大台風や豪雨の状態を50年や100年に一度、あるいは過去に経験のないなどで表現されるようになった。天気予報では、竜巻・突風警報は、当町でも珍しくない報道となってきた。

災害の少ない安心できる故郷であってほしいものだが、状況はどうも楽観できないようだ。

記憶にある過去からしても当町は、自然災害が極めて少ない地区と思ってきたが、町内では、一昨年あわや床下浸水寸前の状態が発生した。町内に入る道路が浸水し四方から通行止めになり、すぐに公民館の活用準備がされた。

この事態に町内会ではすばやい動きで対応し町内のまとまりを感じた出来事だった。今年町内会長になって思うのは、先輩たちから学び、安心を感じられる町内であるよう活動したいことである。

地域の防災対策は自治体や議会が中核となって整備され、町では、災害ハザードマップで安全な場所が示されている。しかし、今後の気象は、より危険が増す方向になるような情報が多い。今年は、大規模地震の防災や津波浸水対策が施行された業種もあった。

さて、時代の変化では住居者人数の減少、高齢化の進行、里山の熊の出没など、数々の深刻な問題と向き合うようになった。

町内だけで解決できるものは、ごくわずかであろうが、町内会として大事なことは、ここに居る人々の協力体制だと感じる。

そのためには、普段からのコミュニケーションがたいへん大事なものですが、今も昔も変わらない基本だと思つた。

vari ゆく、地域や生活環境の中で、地域の安全や安心を感じられるように活動していきたいものだ。

議会のうごき

- 9月20日 井川町福祉会理事会 (桐ヶ丘)
- 9月21日 こどもセンター運動会 (町民体育館)
- 9月25日 青森県外ヶ浜町議会行政視察来町 (義務教育学校)
- 10月10日 井川町老人スポーツ大会 (町民体育館)
- 10月21日 秋田県町村議会議長会理事会 (秋田市：県市町村会館)
- 10月26日 町民のつどい (農村環境改善センター)
- 10月27日 井川町産業祭並びに福祉展表彰式 (農村環境改善センター)
- 10月29~30日 秋田県町村議会議長視察研修会 (北海道八雲町ほか)
- 11月5日 第2回井川町議会全員協議会 (役場：議場)
- 11月11~12日 南秋田郡町村議会議長視察研修 (東京都)
- 11月12日 秋田県関係国会議員との懇談会 (東京都：グラウンドアーク半蔵門)
- 11月12日 山形県小国町議会行政視察来町 (義務教育学校)
- 11月13日 創立70周年記念式典及び第63回町村議会議長全国大会・第44回豪雪地帯町村議会議長全国大会 (東京都：NHKホール)
- 11月15日 義務教育学校公開、講演会 (義務教育学校)
- 11月16日 第31回首都圏ふるさと井川会総会・祝賀会 (東京都：日本青年館)
- 11月18日 秋田県森林・林業・林産活性化推進議員連盟連絡協議会定時総会 (秋田市：イヤタカ)
- 11月20日 南秋田郡町村議会正副議長並びに事務局職員合同研修会 (役場：大会議室)
- 11月25日 第3回井川町議会全員協議会 (役場：議場)
- 11月25日 秋田県知事との行政懇談会 (秋田市：県市町村会館ほか)
- 11月26日 議長・副議長・議運委員長会議 (役場：正副議長室)
- 11月27日 第6回議会運営委員会 (役場：正副議長室)
- 11月27日 議会だより編集委員会 (以降4回) (役場：小会議室)
- 11月30日 こどもセンターまつり (こどもセンター)
- 12月4日 令和元年第4回議会定例会 (～6日) (役場：議場)
- 12月10日 井川町福祉会理事会 (桐ヶ丘)
- 12月19日 南秋田郡議会議長連絡協議会 (八郎潟町役場)
- 12月20日 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会定例会 (八郎潟町役場)
- 12月23日 八郎湖周辺清掃事務組合議会定例会 (クリーンセンター)
- 12月24日 湖東地区行政一部事務組合議会定例会 (湖東地区消防署)

編集後記

いつもご愛読ありがとうございます。今年4回の議会だよりを4年間、私達、編集委員が皆様に読まれる紙面づくりに努めてきましたが、次号からは新しい編集委員が作成しますので、よろしくお祈りいたします。今年も町と町民各位が佳き年であります様に祈り申し上げます。

(遠藤 政勝 記)



委員 渡部 豪士 副委員長 松田 弘咲
委員 遠藤 政勝 委員長 湊 文博
委員 浅野 義幸 発行責任者 藤田 俊悦
委員 伊藤 俊郎